

平成 30 年度 照隅認定こども園 事業報告

保育所型認定こども園となり 2 年が経過しました。初年度は 1 号認定希望がありませんでしたが、今年度は定員の 2 名を確保することができました。平成 31 年度は、園の掲示板にて 1 号認定の入園希望者を募ったところ、入園希望が 2 名あり、保護者の就業の有無に関わらず、子どもたちが同じ園で教育を受けることのできる認定こども園としての認知度が増してきました。行事では、例年通り伝統行事の継承や、山登りを通して自然との触れ合いや体力づくりを図りました。子育て事業では園庭開放や公開行事を通して、地域子育て家庭への支援を図りました。保育所型認定こども園として、より地域社会の要望に答えていくため、また今まで以上によりよい教育・保育を実践すべく、以下の事業内容を実施しました。

【内容】

	重点実施項目	実行計画	実施結果
地域貢献の視点	1. 子育て家庭への保育園機能の開放	1. 毎週 1 回（開放のみ）毎月 1 回（保育あり）の園庭開放、毎月 1 回の子育て教室の実施	1. 毎週の園庭開放は 48 回の内、5 回利用があり、延べ 12 名、毎月の園庭開放は計 12 回実施し、延べ 169 名、すくすく子育て教室は計 4 回実施し、延べ 58 名の利用があった。
	2. 子育て等に関する相談や援助の実施	2. 随時相談を実施。園庭開放、子育て教室時にも受付	2. 園庭開放・子育て教室時に随時実施した。
	3. 子育て家庭の交流の場の提供及び交流の促進	3. 毎週 1 回（そのうち月 1 回は保育あり）の園庭開放、毎月 1 回の子育て教室の実施、地域交流のための公共の場における絵本の読み聞かせ会（出前保育）の実施	3. 毎週の園庭開放（年間 48 回の内、5 回利用があり、延べ 12 名）、毎月の園庭開放（年間 12 回延べ 169 名）、子育て教室（年間 4 回延べ 58 名）、出前保育（梅津北児童館へ年間 5 回）実施した。
	4. 地域の子育て支援に関する情報の提供	4. 掲示板による、子育て情報の掲示	4. 地域の子育て家庭に対し、実施した。
	5. 老人とのふれあいを通じて地域文化の伝承と老人の孤立化の防止	5. 老人施設訪問	5. 老人との交流を図るため、老健施設マリアンヌに訪問した。（9/18）
	6. 園行事の地域への開放による地域の活性化と子育て、子育ての支援	6. 花まつり・七夕会・地藏盆・運動会・造形展・もちつき・七草粥・豆まきなど公開行事の実施	6. すべて実施した。
利用者の視点	1. 教育・保育内容 ①教育保育要領・保育指針に基づく保育の計画と評価の実施	①教務部を中心に、保育の計画に基づく保育の実施 保育要録の作成	①実施した。

	重点実施項目	実行計画	実施結果	
利用者の視点	②小学校へつなげる保育	②体操教室を通した体力づくり、ワークなどを通した、音声文化から文字文化への移行を図る。保育要録の作成。 座禅の実施。	②実施した。 坐禅では、成道会坐禅会・涅槃会坐禅会を実施した。	
	③障害児保育の実施	③関係機関との連携を図り、障害の早期発見と早期対応に努める	③障害児 5 名の保育を実施した。 気になる子の記録を取り、巡回相談を利用し、早期対応に努めた。	
	④伝統行事や文化行事を通した人間としての基本的な型と生きる力を身体で覚える「心と身体教育」の実施	④花まつり・七夕会・お泊り保育・地藏盆・老人施設訪問・運動会・造形展・成道会座禅会・もちつき・七草粥・雪あそび・豆まき・涅槃会座禅会などの実施	④すべて実施した。	
	⑤子どもと保護者のふれあいを図る行事の実施	⑤親子で参加する一日遠足の実施	⑤実施した。(5/18)	
	⑥保護者への保育内容周知	⑥入園のしおり、園だより、クラスだよりの作成・配布 ホームページ・まち comi による情報提示	⑥実施した。	
	⑦保育教諭の加配	⑦4 月当初で障害児加配 2 名配置	⑦4 月当初で 2 名加配した。	
	⑧虐待児童の早期発見と対応	⑧毎日の視診、長期欠席児の理由確認と市への報告、保健センター等、専門機関との連携	⑧実施した。	
	⑨保育環境の充実	⑨保育の充実を図るための保育備品や保育教材の購入 (絵本・玩具など)	⑨玩具・絵本などを購入し、充実を図った。	
	2. 健康および安全			2.
	①食育の促進	①栄養士によるクッキング活動や食育に関する話の月 1 回以上の計画・実施	①年間 273 回給食を提供した。 ・4 名のアレルギー児にアレルギー除去食を提供した。 ・プランターで野菜作りを体験した。	
②子どもの健康把握と健康増進を図る	②予防接種・既往症歴の把握、身体測定、内科検診、歯科検診、山登り・地域散策、散歩	②身体測定(毎月)、内科検診(年 2 回)、歯科検診(年 1 回)、山登り・散策(年 10 回) 実施した。		

	重点実施項目	実行計画	実施結果
利用者の視点	③各種避難訓練の実施	③通常の園独自の訓練に加え、警察や消防、救急と連携した防災訓練や救命救急講習の実施	③火災訓練3回（内1回消防と連携）、地震訓練4回、地震火災訓練1回、水害訓練1回、不審者訓練3回、消火訓練12回、普通救命講習Ⅲを1回実施した。
	④環境整備と衛生管理の徹底	④清掃・設備点検などの実施 整理整頓・清掃、手洗い・消毒の徹底	④毎日実施した。
	⑤安全指導と不測の事態への対応	⑤各種マニュアルの見直し（虐待防止・不審者対応・アレルギー対応・災害時の対応・事故時の対応・食中毒対策・プール及び水あそびマニュアル）の見直し、充足を図る	⑤各種マニュアルの見直しを図り、必要に応じ修正を行った。
	3. 保護者支援		
	①園と家庭の相互連絡の充実	①連絡帳の利用、園だより、クラスだより、まち comi メール、ホームページによる情報提示、子どもの送迎時の対応、苦情相談の受付など	①園だより、クラスだよりは12回発行した。 まち comi メール、ホームページでの情報開示を随時実施した。
	②1号認定の受け入れを図る	②4月3歳児1名、5歳児1名の計2名を受け入れる予定 ホームページ等を通じて、1号認定を知らない保護者への啓発を行う。	②4月より3歳児1名、5歳児1名の計2名を受け入れた。 見学時に啓発を行い、31年度入園希望に2名の申し込みがあった。
	③低年齢児保育の積極的な実施	③受け入れ枠を最大限に広げた0・1歳児の積極的な受け入れ	③0歳児定員12名のところ15名、1歳児定員12名のところ18名を受け入れた。
	④働く両親の就業援助	④・預かり保育（1号認定）の実施 1号認定 7:00～9:00・15:30～19:00 ・延長保育（2,3号認定）の実施 保育短時間 7:00～8:30・16:30～19:00 標準時間 18:00～19:00	④延長保育は延べ2400名保育した。
	⑤安全で安心な遊び場の提供	⑤園庭遊具・施設設備の管理・点検 遊具、設備点検表を作り、毎日・毎月のチェックをする。	⑤毎日の遊具の点検および月2回の設備点検を実施した。
	⑥保育サービスの全体的な質の向上を図る	⑥保育士、職員の研修の実施 教務部で研修計画を作り実施	⑥接遇の講師を招き、研修会を2日間実施した。

	重点実施項目	実行計画	実施結果
利用者の視点	<p>4. 苦情解決</p> <p>①苦情への適切な対応をはかり、利用者の満足感を高める</p> <p>②利用者個人の権利を擁護し、利用者がサービスを適切に利用することができるようにする</p> <p>③苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保し、信頼と適性性をはかる</p>	<p>①投書箱の設置、連絡帳、口頭、電話等による苦情の受付「要望・意見・苦情・相談」発生・解決報告書への記入②苦情解決責任者、苦情解決担当者、第三者委員等の担当者の設置。システム図示、公表。</p> <p>②解決責任者、苦情解決担当者、第三者委員等の担当者の設置。システム図示、公表。</p> <p>③年度末に1年間に発生した苦情件数等を園だより・ホームページ・掲示板を通じて公表</p>	<p>①実施した。 苦情は9件あった。 口頭2件、電話2件、連絡帳・手紙2件、京都市1件、その他2件</p> <p>②実施した。</p> <p>③「要望・意見・苦情・相談」発生・解決報告書への記入(件あり、内容は別紙の通り)</p>
	<p>5. 保幼小連携</p> <p>①子供同士の交流を図る</p> <p>②教職員の交流、情報交換を図る</p> <p>③地域としての取り組みを図る</p>	<p>①条件が整えば、行事や日常保育での交流</p> <p>②条件が整えば、打ち合わせ、保育参観、授業参観、合同研修会などの実施</p> <p>③保幼小が参加した連絡会への参加</p>	<p>①実施できなかった。</p> <p>②小学校の授業参観に出席した。</p> <p>③連絡会へは1回参加した。 その他、電話で連絡会を行った。</p>
財務の視点	<p>1. 園舎内外の不具合部分の修繕</p> <p>2. 計画的な保育備品購入</p> <p>3. 施設設備強化</p> <p>4. 経費削減対策</p>	<p>1. 毎月と年度末に修繕個所の調査</p> <p>2. ①絵本・玩具の購入 ②画用紙棚及び乾燥棚の購入 ③楽器の充足 ④花御堂の購入</p> <p>3. ①倉庫拡張 ②0,1歳靴箱設置 ③人工芝設置 ④厨房器具類購入 ⑤事務用チェスト3台購入 ⑥事務所カウンター窓設置</p> <p>4. コピー・水道・電気などの節約に取り組む。</p>	<p>1. 実施した。必要に応じ修繕を実施した。</p> <p>2. 玩具、絵本を購入し、充足を図った。鉄琴・花御堂を購入した。</p> <p>3. 倉庫を拡張した。1歳の靴箱、人工芝、事務所カウンター窓を設置した。</p> <p>4. 法人研修の資料を各園準備にし、印刷費を削減した。</p>

	重点実施項目	実行計画	実施結果
財務の視点	5. 財務諸表による経営状態の把握 6. 職員の処遇改善	5. 専門家の指導を受け、財務分析を受ける 6. 園および市の基準に基づき、処遇改善手当の支給	5. ゆびすい会計センターによる財務分析を受けた。 6. 年度末の処遇改善Ⅰとキャリアアップ該当者の処遇改善Ⅱを実施した。
業務プロセスの視点	1. 業務改善取組の構築 2. 危機管理マニュアルの見直しと点検 3. PC管理の確立 4. 各部計画の見直しと点検	1. ①各部・各係のPDCAの作成と更なる深化 ②園務分掌の検討 2. 虐待防止・不審者対応・アレルギー対応・災害時の対応・事故時の対応・食中毒対策・プール及び水あそび等の各種マニュアルの見直し、充足を図る 3. フォルダリングによる個人情報の管理の徹底 各クラスへPC・USBメモリー配布およびセキュリティ対策 4. 研修計画・防災避難訓練計画・食育計画・保健計画・安全計画・プール指導計画の見直し	1. 実施した。 2. 各種マニュアルの見直しを図り、必要に応じ修正を行った。 3. 個人情報データはパスワード設定し、各種ファイルは、フォルダリングし、定期的にバックアップを行い、管理を徹底した。 4. 実施した。
人材育成の視点	1. 離職防止対策を図る 2. 職員の資質向上を図る 3. 園内研修の充実 4. 人材の確保を図る 5. 職務内容に応じた給与システムの検討	1. 様々な勤務形態を考慮した働きやすい職場づくり 2. 分掌、各自の課題に即した研修(キャリアアップ研修含む)の設定および積極的参加 3. 専門の講師の研修(接遇研修・普通救命講習Ⅲ)を受ける 4. 人材派遣会社を利用することのない、積極的な就職フェアの参加やハローワークでの求人、養成校への求人票の送付などを実施 5. 専門家の指導を受け、検討	1. 月単位変形労働制の勤務時間に基づき、土曜日の過剰な出勤を抑えた。また、シフト作成時に土曜日出勤の付加が必要な時には、指定休暇を与え、調整した。 2. 実施した。 3. 接遇・社会人の心構えについて講師を招き、研修会を2日間実施した。 4. ハローワークの求人票内容の加筆や登録者への求人票配布などの機能を活用を行い、積極的に求人活動を行った。 5. 人事考課を実施し、適正な評価を行った。